

各 位

上場会社名	株式会社 クエスト
代表者	代表取締役社長 佐藤 和朗
(コード番号)	2332)
問合せ先責任者	常務取締役 長濱 隆
(TEL)	03-3453-1181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月16日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位: 百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,110	525	520	290	53.04
今回発表予想(B)	7,271	294	306	200	36.83
増減額(B-A)	△839	△231	△214	△90	——
増減率(%)	△10.3	△44.0	△41.2	△31.0	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	7,212	458	476	260	47.73

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,480	435	475	266	48.65
今回発表予想(B)	6,799	303	354	266	48.98
増減額(B-A)	△681	△132	△121	0	——
増減率(%)	△9.1	△30.3	△25.5	0.0	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	6,867	432	487	293	53.69

修正の理由

リーマン・ショックによる金融問題の顕在化以降、顧客である大手家電メーカーにおいては、液晶テレビなどのエレクトロニクス分野での消費低迷により、事業環境が急速に悪化しました。同じく顧客の大手半導体メーカーにあつては、フラッシュメモリの価格下落及びデジタル家電向けのシステムLSIの不振などにより、業績は急激に悪化しました。またメーカー各社の輸出事業は円高にあえいでおります。

これらが起因して、当社の業績については以下の修正要因が発生しております。

売上高については、顧客からの新規投資計画の見直しや既存案件の凍結、コストダウン要請などにより、主力であるソフトウェア開発業務及びシステム運用管理業務において当初の受注高が見込めなくなっておりますため、売上高の減少が見込まれることによるものです。

営業利益については、上記により、売上高総利益の減少が見込まれることと、連結子会社である株式会社ドラフト・インの事業の再構築による費用計上(56百万円)によるものです。なお、グループを挙げて不要不急の販売費及び一般管理費等の圧縮に努めております。

経常利益については、営業利益の減少によるものです。

当期純利益については、経常利益の減少による影響と、税金負担が軽減される見込等のため、予想数値は上記のとおりとなっております。

以上売上高減少に伴う採算の悪化により、平成20年5月16日に公表しました平成21年3月期の通期予想を修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上